
デジタルリソースの操作 - 概要

このセクションでは、デジタルリソースの操作に関する概念とそのすべての要素についての説明、およびオンラインヘルプで各要素が詳細に説明されている場所へのリンクを提供します。

[Almaデジタルトレーニング動画](#)で、Almaでデジタルリソースを管理するプロセスを説明しています。

用語とデータモデル

役職

次の役職を持つユーザーは、さまざまなデジタルリソース関連のアクティビティを実行することができます。

- デジタル目録オペレーター - デジタル表記の追加および編集に必要です
- 拡張デジタル目録オペレーター - 削除操作に必要です
- コレクション目録オペレーター - 新しいデジタル表記を追加する場合に必要です

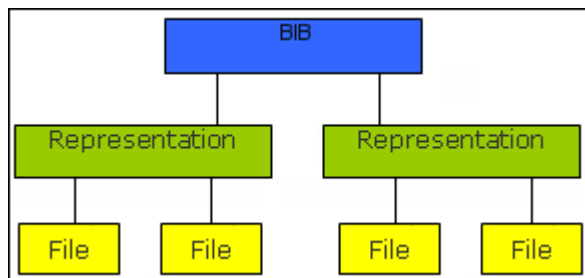
次の役職はデポジットを操作することができます。

- デポジットマネージャー
- デポジットオペレーター
- 拡張デポジットオペレーター
- 統括システム管理者

データモデル

Almaではデジタルリソースが3層の階層で構成されています。

- 書誌レコード - トップレベルは、リソースのメタデータを含む書誌レコードで構成されます。（これは、冊子および電子リソースにも当てはまります。）
- 表記 - ミドルレベルは表現レベルです。このレベルは、デジタルファイルのコンテナとして機能します。書誌レコードには複数の表記を添付できます。一方の表記はマスターコピーとなり、他方は派生コピーとなります。形式、解像度、サイズが異なる場合があります。
- ファイル - 3番目のレベルはファイルレベル、つまりリソースのデジタルファイルです。各表記には複数のファイルが存在する場合があります。



デジタルリソース階層

Almaがデジタルリソースを維持する方法には、2つのパラダイムがあります。

- リモート – Alma では、書誌レコードを維持しながら、デジタルファイルをデジタル管理システムにリモートで保存することができます。
- 非リモート – 書誌レコード、表記、ファイルなど、Almaのすべてのデジタルリソース情報を管理します。

コレクション

デジタルリソースはコレクションで管理する必要があります。デジタル表記を作成するとき、それを配置するコレクションを選択する必要があります。この設定を変更するには、[Ex Librisサポートにお問い合わせください](#)。コレクションの詳細については、[コレクションの管理](#)を参照してください。

アクセス権

アクセス権では、デジタル表記を表示できるユーザーを決定します。詳細については、[デジタルオブジェクトのアクセス権プロファイルの設定](#)を参照してください。

サムネイル

デジタルファイルのサムネイルを検索結果に表示できます。デジタル目録を作成するとき、Almaは最も一般的な画像、文書、プレゼンテーション、および動画ファイル形式のサムネイルを自動的に生成しようとします。取り込み中に独自のサムネイルを設定することもできます。詳細については、[ビューアサービス](#)を参照してください。

Note

補助使用タイプのデジタル目録の場合、Almaは自動的にファイル表現からのサムネイルを作成しません。補助リソースのサムネイルを作成するには、表現の補助使用タイプを変更するか、[ファイルからサムネイル画像を選択](#)します。

Almaでのサムネイル作成プロセスはPrimoとは異なります。詳細については、「[Primo VEでのサムネイル管理](#)」をご覧ください。

詳細については、[Almaのデジタルリソース](#)を参照してください。

デジタルリソースの作成

タイトルに対して新しいデジタル表記を作成する場合、Almaのタイトルに表記を追加して、ユーザーに表示されるように

する必要があります。デジタル表記は、Almaのローカルに配置したり、リモートデジタルリポジトリに配置したりすることもできます。

表記を追加

スタッフは、タイトルにデジタル表記を追加することができます。詳細については、[表記を追加](#)を参照してください。

デジタル化

ユーザーまたはスタッフメンバーは、冊子または電子アイテムのデジタル化を要求できます。その結果、デジタル化されたアイテムがデジタル目録として追加されます。詳細については、[デジタル化処理](#)を参照してください。

デポジット

ユーザーはリポジトリに追加するコンテンツをAlmaに送信できます。詳細については、[デポジット](#)を参照してください。

MDインポート

スタッフは自動ワークフローを作成して、デジタルコンテンツをAlmaに一括で取り込むことができます。このワークフローは、次の手順で構成されています。

- Almaへの一括アップロードを実行するときに、デジタルリソースを処理する方法を、Almaに伝えるデジタルインポートプロファイルを設定します。詳細については、[インポートプロファイルの管理](#)を参照してください。
- インポートプロファイルでは、ファイルをインポートするときに使用する書誌レコードのメタデータファイルを準備します。詳細については、[XMLメタデータファイルの準備](#)または[CSVメタデータファイルの準備](#)を参照してください。
- [デジタルアップローダー]を使用して、ファイルとメタデータをAlmaにアップロードします。詳細については[Almaへのファイルのアップロード](#)を参照してください。

API

デジタルコンテンツは、Alma APIを使用して作成することができます。詳細については、[デベロッパーネットワーク](#)を参照してください。

デジタルリソースの管理

スタッフは、個々のデジタル表記とその関連ファイルを更新および削除することができます。詳細については、[表記メタデータとコンテンツの編集](#)を参照してください。一括更新の実行については、[デジタルコンテンツの一括作成](#)を参照してください。

デジタルリソースの普及

ディスカバリー

デジタルタイトルは、Primo、Summon、またはその他のディスカバリーツールを使用して発見することができます。表示される結果は、表記配信サービスの表示ロジックルールに従って決定されます。詳細については、[表記配信サービスの表示ロジックルールの構成](#)を参照してください。

Note

Primo VEについては、[Primo VEのディスカバリーインターフェイス表示ロジックの設定](#)を参照してください。

納品

Almaビューアを使用して、リポジトリを検索した時に発見したデジタル表現を表示します。詳細については、[デジタル表記の表示](#)を参照してください。

公開

メタデータはAlmaによって公開されているため発見することが可能です。Primoへのデジタルレコードの公開、デジタル出力、および公開されたデジタルデータの形式については、[Primoへの公開](#)を参照してください。Summonへのデジタルレコードの公開については、[Alma-Summon Integration](#)を参照してください。

Note

Primo VEの書誌レコードをエクスポートするために、公開ジョブを実行する必要はありません。

エクスポート

ファイルとその保存場所に関する詳細を含むデジタル書誌レコードをエクスポートできます。デジタル書誌レコードをエクスポートするには、適切なパラメーターを定義し、デジタルタイトルのエクスポートジョブを実行します。このジョブの実行については、[デジタルタイトルのエクスポート](#)を参照してください。